

学習指導要領		武蔵丘高校 学カスタンダード
(1) 私たちの時代と歴史	<p>現代の社会やその諸課題が歴史的に形成されたものであるという観点から、近現代の歴史的事象と現在との結び付きを考える活動を通して、歴史への関心を高め、歴史を学ぶ意義に気付かせる。</p> <p>開国前後から第二次世界大戦終結までの政治や経済、国際環境、国民生活や文化の動向について、相互の関連を重視して考察させる。</p>	<p>近現代の歴史的事象と現在との関連を考察する活動を通して、自らが歴史の当事者であること、自らの歴史的位置を歴史全体の中で理解する。</p>
(2) 近代の日本と世界	<p>ア 近代国家の形成と国際関係の推移</p> <p>(ア) 近代の萌芽や欧米諸国のアジア進出、文明開化などに見られる欧米文化の導入と明治政府による諸改革に伴う社会や文化の変容、自由民権運動と立憲体制の成立に着目して、開国から明治維新を経て近代国家が形成される過程について考察させる。</p>	<p>[近代の萌芽]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 産業革命及び資本主義の進展にともない、市場と資源を求めて、欧米列強のアジア進出がどのようなものであり、それがまたいかに不可避的なものであったかを理解する。</li> <li>* 江戸時代 19 世紀前半、欧米列強の接近する中、幕府がとった対応策、とくに国学や蘭学(洋学)などの学問及び社会思想が果たした役割を理解する。</li> </ul> <p>[開国から幕府の滅亡]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 欧米列強の外圧に対する幕府の対応がいかに朝廷の権威を高め、西南雄藩の台頭を招いたかを理解する。</li> <li>* 和親条約・修好通商条約が不平等条約であったこと、その後の貿易の推移が日本国内の社会や経済及び倒幕運動にどのような影響をあたえたかを理解する。</li> <li>* 尊王攘夷派成立の思想的・歴史的背景と、それがどのようにして倒幕勢力として展開・結集していったかを理解する。</li> <li>* 明治政府が近代国家樹立のため実施した政治・経済・社会改革の具体的内容とその歴史的意義について理解する。</li> <li>* 文明開化期に導入された欧米の技術・思想の内実がどのようなものであったか、それらがどのような歴史的役割を担ったかを理解する。</li> </ul> <p>[明治初期の外交]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 日清・日朝・日露との間に締結された条約の経緯・内容と領土確定を把握する。</li> </ul> <p>[自由民権運動の展開]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 運動の段階的発展と運動の要求する早期の国会開設とが民主的憲法の制定を求めていたことを理解する。</li> </ul>

学習指導要領	武蔵丘高校 学カスタンダード
<p>(イ) 条約改正や日清・日露戦争前後の対外関係の変化、政党の役割と社会的な基盤に注目して、国際環境や政党政治の推移について考察させる。</p> <p>イ 近代産業の発展と両大戦をめぐる国際情勢            (ア) 産業革命の進行、都市や村落の生活の変化と社会問題の発生、学問・文化の進展と教育の普及、大衆社会と大衆文化の形成に着目して、近代産業の発展と国民生活の変化について考察させる。</p>	<p>[立憲体制の成立]            * 大日本帝国憲法の成立経緯及び天皇の位置付けや統帥権、国民の人権などの特色について理解する。</p> <p>[条約改正]            * 条約改正交渉の経過、国内法(刑法・民法など)の整備、国際関係の変化について理解する。</p> <p>[日清・日露戦争と国際関係]            * 壬午軍乱や甲申事変が朝鮮に対する日本と清の支配権の対立へと発展していった過程を理解する。            * 下関条約の内容、及び三国干渉が国内世論に与えた影響、とくにその後の日露対立の激化を理解する。            * 日露戦争にいたる国内外の情勢について理解する。            * ポーツマス条約の具体的内容を理解する。            * 韓国併合へとすすむ過程を、英・米・露などの列強との関係をふまえながら理解する。</p> <p>[政党政治の展開]            * 第一次護憲運動、米騒動など民衆の政治的登場と原敬内閣など本格的な政党内閣成立の過程とその歴史的意味を理解する。            * 大戦景気や戦後恐慌といった経済情勢、ロシア革命やヴェルサイユ条約締結といった国際情勢との関連をふまえ、社会運動や労働運動が広がりをもったことを理解する。            * 同時に成立した普通選挙法と治安維持法がもたらした歴史的功罪を理解する。</p> <p>[産業革命の進展と資本主義の発展]            * わが国の急速な産業革命の特質と問題点を理解する。</p> <p>[国民生活の変化]            * 産業革命の進展にともない、農村から都市への大規模な人口移動により、労働問題・社会問題がいつそう噴出してきたことを具体的に理解する。            * 「大正デモクラシー」という風潮が浸透していく中、オピニオン・リーダーを中心として思想的動向をふまえ、時代性・文化の特性を理解する。</p>

学習指導要領	武蔵丘高校 学カスタンダード
<p>(イ) 諸国家間の対立や協調関係と日本の立場、国内の経済・社会の動向、アジア近隣諸国との関係に着目して、二つの世界大戦とその間の内外情勢の変化について考察させる。</p> <p>ウ 近代の追究</p> <p>近代における政治や経済、国際環境、国民生活や文化の動向が相互に深くかかわっているという観点から、産業と生活、国際情勢と国民、地域社会の変化などについて、具体的な歴史的事象と関連させた適切な主題を設定して追究し表現する活動を通して、歴史的な見方や考え方を育てる。</p> <p>第二次世界大戦後の政治や経済、国際環境、国民生活や文化の動向について、現代の諸課題と近現代の歴史との関連を重視して考察させる。</p>	<p>〔第一次世界大戦前後の国内外の動向〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 第一次世界大戦において、日本がさらに中国大陸へ進出を強めたことにより、中国民衆の反発、アメリカはじめ欧米諸国に日本に対する強い警戒心がひろがったことを理解する。</li> <li>* ヴェルサイユ体制・ワシントン体制など国際的な協調体制が構築されていく情勢下、日本の立場や対外政策が変化していく経過を把握し、理解する。</li> <li>* 大戦景气及び戦後恐慌により、日本に金融独占資本主義が成立し、財閥による産業・経済支配が進展していったことを理解する。</li> </ul> <p>〔戦間期の国内外の動向〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 戦後恐慌、震災恐慌、金融恐慌、世界恐慌、昭和恐慌等の一連の恐慌の内実を把握し、その対応策としての紙幣の増発や金解禁、管理通貨制度や産業合理化策に注目するとともに、それが国民に与えた影響について理解する。</li> <li>* 世界恐慌からの脱出をはかろうとするための主要国の政策を理解する。</li> <li>* 五・一五事件や二・二六事件などの推移と国家主義や軍部が台頭した歴史的事情と、政党政治の終焉とを関連付けて理解する。</li> </ul> <p>〔第二次世界大戦前後の国内外の動向〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 日中戦争の勃発、泥沼化の過程、その中で物資の不足、アメリカの禁輸政策による行き詰まりを打開するために、日本が南進政策を遂行、それが英米仏を中心とする連合国と開戦するにいたった経緯を理解する。</li> </ul> <p>近代日本がどのように形成され展開してきたか、その歴史的特質や意義、文化の特性を、政治や経済、地域社会、国際情勢と国民生活などさまざまな観点から考察を加え、その結果をまとめる。</p>

学習指導要領		武蔵丘高校 学カスタンダード
(3) 現代の 日本と 世界	<p>ア 現代日本の政治と国際社会</p> <p>占領政策と諸改革、新憲法の成立、平和条約と独立、国際交流や国際貢献の拡大などに着目して、我が国の再出発及びその後の政治や対外関係の推移について考察させる。</p>	<p>〔わが国の再出発〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 第二次世界大戦後の日本は、アメリカ軍を中心とする連合軍に占領され、連合軍最高司令官総司令部(GHQ)の発する指令・勧告にもとづいて、日本政府が実施するという間接統治の形態であったことを理解する。</li> <li>* 戦前(大日本帝国下)の政治・経済・社会等あらゆる状況をふまえ、財閥解体や農地改革などの戦後改革の内容を理解する。</li> <li>* 日本国憲法の成立過程や、日本国憲法の特徴と意義を大日本帝国憲法と比較して、理解する。</li> <li>* 国際連合の成立と、アメリカを中心とした西側資本主義諸国陣営と、ソ連を中心とした東側社会主義陣営の対立である「冷戦」がアジアに与えた影響を理解する。</li> <li>* 中華人民共和国の成立や大韓民国と朝鮮民主主義人民共和国の分立など東アジアの社会主義化がすすむ情勢下、民主化をすすめてきたアメリカの対日占領政策が激変していく意味・過程について理解する。</li> <li>* 朝鮮戦争の開始がわが国にあたえた影響、とくに朝鮮特需を基に理解する。</li> <li>* サンフランシスコ平和条約・日米安全保障条約の内容と特質を、わが国がおかれた国際環境とあわせて理解する。</li> <li>* 沖縄諸島、小笠原諸島、奄美諸島が講和条約締結後も、アメリカの施政下におかれたことと、沖縄の米軍基地化と祖国復帰運動とをあわせて理解する。</li> <li>* 「55年体制」とよばれる戦後政治が40年間続き、これが戦後の政治・経済・社会・外交に多大な影響をあたえていることを理解する。</li> <li>* 冷戦の終結や国際環境の変化を把握し、わが国が国際社会でどのような役割等を期待されているかを理解する。</li> </ul>
	<p>イ 経済の発展と国民生活の変化</p> <p>戦後の経済復興、高度経済成長と科学技術の発達、経済の国際化、生活意識や価値観の変化などに着目して、日本経済の発展と国民生活の変化について考察させる。</p>	<p>〔日本経済の発展と国民生活の変化〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* わが国の戦後復興から、高度経済成長、石油危機からの脱出を経て、経済大国へと発展していく過程を理解する。</li> <li>* 高度経済成長によって、わが国の産業構造及び国民</li> </ul>

学習指導要領	武蔵丘高校 学カスタンダード
<p>ウ 現代からの探究</p> <p>現代の社会やその諸課題が歴史的に形成されたものであるという観点から、近現代の歴史にかかわる身の回りの社会的事象と関連させた適切な主題を設定させ、資料を活用して探究し、その解決に向けた考えを表現する活動を通して、歴史的な見方や考え方を身につけさせる。</p>	<p>の生活や意識がどのように変容していったかを理解する。</p> <p>* 石油危機後、日本経済は安定成長期をむかえ、国際社会でも経済問題がいつそう重視されるようになったことを理解する。</p> <p>現代の日本社会が直面する身近な社会的事象や地域の事象、現代の課題などについて、文書・写真・地図などの資料等を多角的・多面的に活用し、その歴史的過程をよく理解し、自らが解決に向けた具体的な方策をとれるよう、涵養する。</p>